

しおがま 市議会だより

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 May.2026 (令和8年5月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>

令和8年 2月定例会号

- 令和8年度当初予算の概要
常任委員長報告 など P2
- 予算特別委員会委員長報告 P3
- 討論 P4
- 市政に対する一般質問 P5～9
- 議案等賛否一覧表 など P10



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



菜の花畑(朴島)

定例会のあらまし

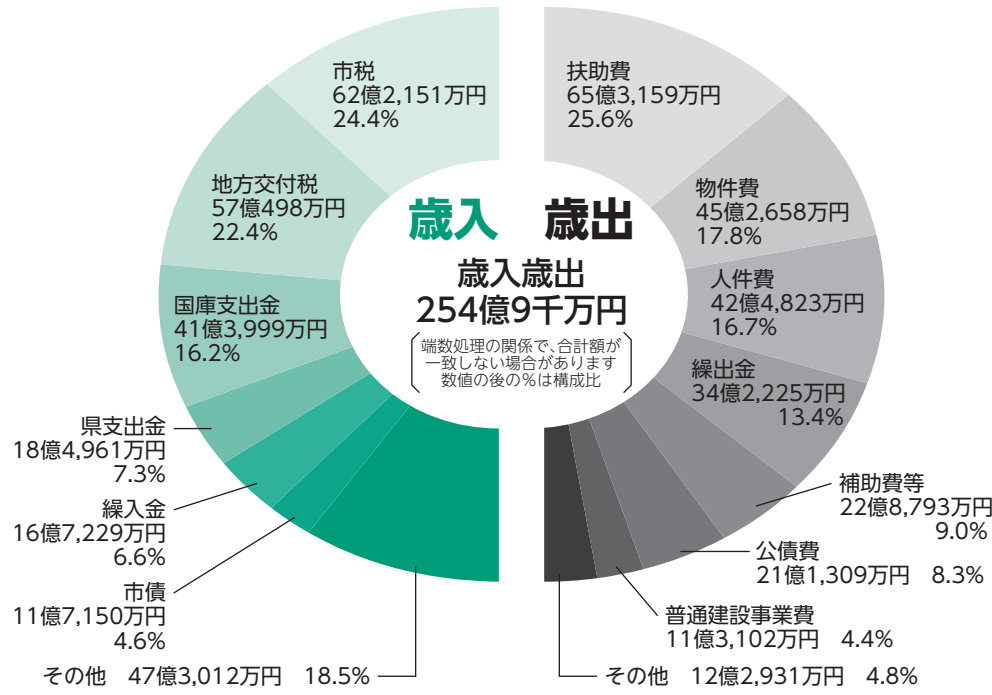
令和8年2月定例会は、2月16日から3月6日までの19日間の会期で開催し、本会議の初日では、令和7年度議案13件が上程され、総括質疑の後、各常任委員会に付託しました。また、専決の承認案件1件を承認し、議員提出議案1件を可決しました。さらに、人事案件1件に同意しました。常任委員会は2日間開催し、付託議案の審査を行いました。本会議2日目は、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、令和7年度議案13件を可決しました。本会議3日目は、令和8年度議案13件が上程され、総括質疑の後、設置した予算特別委員会に付託しました。本会議4・5日目には、市政に対する一般質問を行い、議員8名が市当局の見解をたどりました。休会中には、予算特別委員会を4日間開催し、付託議案の審査を行いました。最終日には、予算特別委員会委員長から審査結果の報告、また、少数意見者からの報告を受け、令和8年度議案13件を可決しました。さらに、議員提出議案1件を即日審議の上可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

本会議	2月16日	会期の決定、議員提出議案・審議及び採決、諸般の報告、専決処分の承認、令和7年度議案説明、総括質疑、人事案件審議及び採決
委員会	2月18日	総務教育常任委員会 民生常任委員会
委員会	2月19日	産業建設常任委員会 議会運営委員会
本会議	2月20日	各常任委員会委員長報告・採決
本会議	2月24日	令和8年度議案説明、総括質疑
本会議	2月25日	市政に対する一般質問
本会議	2月26日	市政に対する一般質問
委員会	2月27日	令和8年度予算特別委員会
委員会	3月2日	令和8年度予算特別委員会
委員会	3月3日	令和8年度予算特別委員会
委員会	3月4日	令和8年度予算特別委員会
委員会	3月5日	議会運営委員会
本会議	3月6日	予算特別委員会委員長報告及び少数意見者の報告・討論及び採決、議員提出議案審議及び採決

一般会計当初予算



・歳出に占める議会費は、2億2,216万円(0.9%)です。

令和8年度当初予算(一般・特別・企業会計) 539億4664万円で可決

令和8年度当初予算は、一般会計が254億9千万円(前年度比7・6%減)、特別会計が136億9910万円(前年度比3%増)、企業会計が147億5754万円(前年度比3%増)となりました。

当初予算概要

- ① 定例会3日目、佐藤光樹市長より当初予算編成に当たつて次の考え方が示されました。①ごみ処理施設は、最優先で取り組んできた。引き続き周辺市町との共同処理に向けて取り組むとともに、現在の処理施設の延命化を図る。
- ② 本庁舎は、東日本大震災規模の地震にも耐えられる安全性を確認した。補修や定期診断を行いながら延命を図っていく。新庁舎整備はごみ処理施設の整備を見ながら検討していく。
- ③ 市立病院は、今年度から本格的に病棟を中心とした改修事業に取り組み、患者様の療養環境の向上と職場環境の改善を図っていく。
- ④ 門前町再生は、恒久的な賑わいを創出していくため、整備に関する基本構想を策定するとともに、宮町分庁舎跡地の利活用に向けた民間活力の導入可能性を調査していく。
- ⑤ 学校再編は、具体的な方策を含めた方針案について意見交換を行い、再編方針の策定に取り組む。

常任委員長報告

2月定例会において、議案13件を各常任委員会に付託し慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。

総務教育常任委員会
委員長 佐藤 公男
 ◎議案第1号及び第5号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算要望意見
 ○ふるさと納税事業は、返礼品として、本年度から現地決済型が導入されているが、市内各種イベントの主催者などと連携し、より充実したプランを提供することによって、本市のファンを増やすよう一層努められたい。

○大会参加助成費は、本市の生徒が全国大会などへ進出したため、その経費に対する助成を増額するものだが、誠意を深いことである。引き続き多くの児童生徒が活躍できるように支援を充実されたい。

民生常任委員会
委員長 志子田 吉晃
 ◎議案第2号、第5号ないし第7号、第9号、第10号及び第12号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計補正予算要望意見
 ○ひとり親世帯等生活費支援商品券配布事業は、ひとり親世帯全世帯とすべきである。物価高騰対策事業については、物価高騰の影響を受けているのは、全ての市民なので、対象者・非対象者といった不公平感が生じることのないよう、市としての独自の支援策も検討されたい。

産業建設常任委員会
委員長 小野 幸男
 ◎議案第3号ないし第5号、第8号、第11号及び第13号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例の要望意見
 ○市営錦町東住宅は、災害公営住宅として、また、地域コミュニティづくりの視点で整備されてきた経緯を踏まえ、今後はソフト面の支援を一層充実されるよう努められたい。

一般会計補正予算要望意見
 ○公園施設長寿命化対策事業は、来園者一人ひとりが関心に沿った区域を利用できるように、区域の名称変更を含めた案内表示の工夫や、来園する区域に応じた適切な駐車場案内など、来園者への的確な情報発信に一層努められたい。

予算特別委員会 委員長報告

令和8年度予算特別委員会では、志賀勝委員長、柏恵美子副委員長を選任し、13議案を審査、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【要望意見】

● 一般会計

▼子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業は、中古住宅の購入や増改築において市民も補助対象とし補助上限額を上げる見直しなどを行っているが、さらなる人口増加策につながるよう、他市町村にはない大胆な施策を検討されたい。

▼結婚新生活支援事業は、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、新婚世帯の新生活を支援するものである。国の交付要件に沿って、対象者の所得や年齢の制限が設けられているが、要件の緩和などを検討し、様々な方の定住を促す施策にされたい。

▼盆踊り継承事業は、これまで町内会単位で行われていた盆踊りや夏祭りが、少子高齢化やライフスタイルの変化などにより開催が減少している

ことを踏まえ、市が開催を支援し、伝統文化の継承、地域コミュニティの維持を図るものである。盆踊りの音楽や踊りを、学校の地域学習の一環とすることで、伝統文化の継承に取り組むとともに、若い世代が中心となるような企画になるよう努められたい。

さらに、盆踊りを開催する町内会との開催日が重ならないよう配慮されたい。

▼市道整備事業（緊急自然災害防止対策事業）は、計画箇所以外にも老朽化が進行する道路が散見されている。生活道路の快適さは、市民の住みよさの実感に直結するものと捉えながら、市単独による道路整備事業を充実させ、生活道路の更新を行われたい。

▼学習支援教室『寺子屋しおサポ』運営事業は、令和7年度の試行実施では、子どもたちの学習意欲の向上が得られたとのことである。学力の向上につながるよう、学生ボランティアなどの協力を得て、子どもたちが一層のコミュニケーションをとりながら、学び合えるフリースペースを作る

▼小学校給食費の負担軽減は、給食費無償化を願う市民団体

から議会に請願が提出されるなど、市民の待ち望んだ事業ではあるが、国が算出した基準額が昨今の物価高騰に見合わず不足額が生じている。給食の質を低下させないよう、国費による完全な給食費無償化に向け、今後も国への要望を継続されたい。

▼ふるさとの文化財等標識設置事業は、浦戸諸島の文化財及び史跡に解説パネルの設置を進めている。毎年度一か所ずつの設置計画とのことだが、来訪者の関心を喚起し周遊性の向上を図る観点から、複数箇所を一体的に整備することを検討されたい。

● 特別会計

▼国民健康保険事業特別会計は、世帯主の年齢が10代から30代の被保険者の滞納率が非常に高い状況にある。国民健康保険制度の構造上の課題がうかがわれ、今後の賦課徴収の在り方も問われるものである。また、新設される「子ども・子育て支援金」については、その使い道を分かりやすく市民に周知されたい。

▼介護保険事業特別会計は、高齢者紙おむつ支給事業において、昨今の物価高により紙おむつの販売価格が上昇して

いることを踏まえ、支給額の増額を検討されたい。

また、要介護2であっても、紙おむつを必要とする市民が存在することを踏まえ、支給対象者を拡大し、利用しやすい制度とされたい。

なお、配食サービス事業は週2回の利用を限度としているが、有用な事業であることから、利用者からの意見を把握するとともに、さらなる利用可能回数を拡大されたい。

● 企業会計

▼下水道事業会計は、下水道施設維持管理包括的民間委託事業において、必要不可欠なライフラインである下水道を持続可能とするため、包括的な民間委託を行うものである。今後も民間のノウハウを最大限に活用し、効率的かつ安



令和8年度予算特別委員会委員長報告

定的な運営に努められたい。また、西塩釜駅周辺にある雨水貯留管上部の遊歩道にベンチの設置を検討されたい。

▼市立病院事業会計は、病院改修事業が計画されている。入院患者を受け入れながら長期間にわたり実施するが、できるだけ早期に改修を行うことにより、患者や職員にとつて使い勝手の良い設備とされ、事業収益の向上や職場環境の改善につなげられたい。

また、財務面では、医業収入などでの収支均衡に努め、一般会計からの繰入れは、縮減されたい。

▼水道事業会計は、水道事業のみならず、市当局全体での技術職員の採用が困難な状況であるが、人材確保は事業運営の基本であることから、引き続き採用に向けて努力を重ねられたい。

※令和8年度塩竈市一般会計予算の「盆踊り継承事業」に対し、附帯決議案が提出され、質疑、採決の結果、否決されましたが、賛成した議員から別途、少数意見の報告がなされました。主なる意見「市が主催者になるのではなく、後方支援として町内会等の盆踊りへの補助制度を創設すべき」

討 論

3月6日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

- 議案第16号** 塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第18号** 令和8年度塩竈市一般会計予算
- 議案第20号** 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第22号** 令和8年度介護保険事業特別会計予算
- 議案第23号** 令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算

反 対 鈴木悦代 議員

議案第18号の令和8年度一般会計予算は、小学校給食費の負担軽減など、評価できる事業はあるが、この間の業務の多様化の下、行財政改革の職員定数抑制による過重な負担で職員が疲弊し、休職者や早期退職が増加。ひいては市民サービスの低下が懸念される。具体的には、次の事業について反対するものである。

個人番号カード交付事業は、マイナンバーカード交付に関

する予算だが、カードを悪用した詐欺などが横行し、セキュリティの懸念も払拭されていないため、国の施策そのものに反対する。

次に、デジタル関連の予算は業務の効率化は進めるべきだが、国の進める標準化は、自治体の基幹業務に対する国の管理が強まり、独自の施策展開が抑制される恐れがある。また、宮城県地方税滞納整理機構への加入に関する予算が計上されているが、当該機構は、税法上の根拠がない任意組織である。県及び県内26市町村が参加しているが、近隣自治体での参加は本市のみである。生活実態を踏まえない徴収が行われる懸念があるため、反対するものである。

議案第16号及び第20号は、国民健康保険事業で、令和8年度より国民健康保険税に子ども・子育て支援金分が追加される。国は、今後3年間で段階的に支援金を引き上げるとしている。これは事実上の増税であり、子育て世帯を含めた可処分所得の減少を招くものだ。医療保険事業に使われるべき財源に対して課すのではなく、国費として措置すべきと考える。また、所得

に対する税の割合が高く、10代から30代で滞納者が多い状況がある。国庫負担を増やし、国保財政の安定化を図り、若年層の負担軽減策が必要だ。

議案第22号の介護保険事業は、制度開始時に比べて保険料・利用料・利用者数が増え続けており、長い間、保険料を払い続けても、必要なサービスが受けられない状況も増えている。誰もが安心して利用できる制度として、国庫負担を増額するような抜本的な改善が必要と考える。

議案第23号の後期高齢者医療事業は、宮城県後期高齢者医療広域連合議会において、保険料が上がることでされた。高齢者の負担率が上がり続け、さらに子ども子育て支援金分も上乘せになる。国民健康保険と同様、少子化対策の財源として社会保険料に上乘せで徴収されるのは筋が違う。

賛 成 桑原成典 議員

議案第18号の一般会計予算は、市民サービスの向上につながる予算である。第6次長期総合計画の前期計画の節目となる5年目で、しおがま未来創生プロジェクトの4つの

実感プロジェクトを推進し、成果指標の達成に向けた効果的な事業を推進する内容である。

反対する会派は、基幹システムの標準化やマイナンバーカードについて問題視しているが、マイナンバーカードは、行政サービスの推進に向けた重要な社会基盤として位置付けられており、迅速かつ積極的に進めるべきと考える。

また、本市は宮城県地方税滞納整理機構に現在加入しており、収納率の向上に貢献しているものである。収納率の低下は市税等の収入減少につながり、市民サービスの低下を招く恐れがあるため、脱退すべきではないと考える。

行財政改革や職員定数の抑制によるマンパワー不足への懸念に対し、同意するところはあるが、人口減少下でも、市民サービスを維持し、充実した行政運営をするために、行財政改革と適正な人員配置の両立は不可欠である。

議案第16号及び第20号は、国民健康保険税に子ども子育て支援金が追加されるものであるが、国が策定した「子ども未来戦略」において、子育て世帯に対して切れ目なく支

援することを基本理念に、財源を社会全体で支え合う仕組みとして法により制度化されたものである。

保険税として徴収されることに懸念を示されたが、低所得者への軽減措置もある。予算においても、子ども・子育て支援金分により税収入が増額されているが、税率を低く保つために、不足分を国民健康保険財政調整基金から補填することとしており、加入者の負担をできる限り抑えた予算である。

議案第22号は、介護保険事業において、主に利用者の増加により給付費が増加したものである。市民が負担する介護保険料については、第9期介護保険事業計画に基づいた適正なものであり、持続的な運営に必要不可欠であると言える。

議案第23号は、後期高齢者医療事業において、2年ごとに行われる改定と、子ども・子育て支援金分による増額がなされている。世帯所得が一定以下の場合に軽減措置があり、提案された予算は、後期高齢者医療を確保するために必要かつ適正な予算である。以上のことから賛成とする。



市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、2月25日、26日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行ったその他の質問項目も掲載しています。



公明党
菅原善幸

ふるさと住民登録制度は

議員 政府は、地方創生2・0の一環として「ふるさと住民登録制度」を推進している。

この制度は、自治体が提供するスマートフォンアプリなどを用いて、居住地以外の地域に継続的に関わる「関係人口」を「ふるさと住民」として登録する仕組みであり、住んでみたい地域に登録をし、空き家を活用した二地域居住を促進することで、空き家対策にもつながる制度である。「ふるさと住民登録制度」について、本市はどのように考えているのか伺いたい。

総務部長 ふるさと住民登録制度は、登録によって関係人口の規模や地域との関係性が可視化できる。また、登録された方が、情報提供などの行政サービスをアプリ上で受けられるメリットがある。今、国でシステムを構築しており、本市としては、その状況を見

ながら、導入についても検討を進めてまいりたい。

政策課長 活用可能な空き家を使用し、一時的に滞在できる環境を整備し、ふるさと住民登録をされた方に、お試しで滞在していただくなどの施策につなげることができないのではないかと考えている。

市立病院は

議員 令和8年度施政方針に、「国や県において地域医療の連携・再編・集約化を検討していることから、その動向を注視しながら、市立病院が果

たすべき役割や機能などにつきまして検討を進めてまいります。」とあるが、国や県における地域医療の連携・再編・集約化とは、具体的にどのような内容なのか。

今後、公立病院としての市立病院の体制や役割についても説明いただきたい。

市立病院事務部長 医療機関がそれぞれに連携をしながら、切れ目のない医療を確保し、医療機能の重複の見直しと集約化により専門性の高い医療の質と安全性を高め、将来にわたり、地域住民が安心して医療を受けられる体制を構築するという考えである。

市立病院事業管理者 市立病院が行っている地域包括ケア病床を中心とした医療を切れ目なく継続していくことが求められる役割である。

国のガイドラインが示される前から先行して行ってきた、急性期医療の引継ぎ、在宅医療の提供、施設入所への支援などが、新たな医療構想の核になると考えている。

その他の質問項目

- ・地域おこし協力隊は
- ・身寄りのない高齢者などは



かいしん
志賀勝

人口減少対策の現状と課題は

議員 第6次長期総合計画前期基本計画の総括が提示され、重要目標達成指数(KGI)として、「塩竈市への愛着・誇りを感じる市民の割合」は、目標に到達している。一方、令和8年3月末の目標人口5万1500人に対し、令和7年末時点で5万1136人となり既に目標値を下回っている。

KGIの達成と人口動態とのかい離を、どう捉えているのか危惧している。これまでの人口減少対策と課題を精査し、人口減少対策を語る上で重要度が高い、出産・子育て世代の女性の流出が拡大している現状をどう捉え、今後どのような具体的対策が必要と考えるのかを問う。

市長 令和2年12月に算出した推計値は上回っているものの、目標値からは下回っている状態のため、さらなる対策が必要と考える。

市政に対する一般質問



かいしん
鈴木新一

ふるさと納税は

できるのか。満足していない若い世代が本市から転出し、アンケートの対象にならないということもあるのではないかと。また、協力した市民へのフィードバック不足も懸念される。今後、いかに収集した意見を分析し、どう公開・共有していくのか。市民とともに計画を作り上げるための情報収集と公開の在り方を問う。

議員 本市としては財源のない中での自主財源の確保において、ふるさと納税は極めて重要と考える。

政策課長 満足度の指標が5ポイント近く上がっており、ご指摘のとおり、ご高齢の方の回答によるものと認識した。

日本中から県内へ寄附が寄せられているが、本市の令和5年度と令和6年度の県内の順位と寄附額を伺いたい。

総務部長 アンケート結果は、ホームページで公表している。また、今回については、長期総合計画審議会でも提示しているが、全体の問いに対する報告である。

また近年、寄附額上位との差がかなり開いている。上位自治体は、営業的なりサーチ力やセンスを持ち、安定的な供給力を有しており、しっかりと生産力が整備されていると考えられる。

議員 令和9年度からの長期総合計画後期基本計画を策定するに当たり、市民の皆様のご意見を計画に反映させていくため、昨年9月に実施した市民アンケートについて、回答者の42%超が60代以上であった一方、10代から30代は約24%にとどまり、意見集約に課題を残した。回答者層の偏りがある中で、後期基本計画の施策の有効性をいかに担保し、若年層向け施策を策定

本市におけるふるさと納税の課題と向き合う体制の確立について、当局の考えを伺う。

総務部長 令和5年度は、約5億1000万円、県内順位は13位であったが、令和6年度は、10億7000万円、順位も第5位まで上がった。上位自治体と本市を比べると、一番の差は、豊富な品目数と

安定した供給力を持っていること。本市ではサケとカニが人気であるが、それに続く全国的にもニーズがある商品をつくり出していきたい。また、年間を通して供給していただく業者を見つけていくことが課題解決のための体制確立につながるかと考えている。



ふるさと納税パンフレット

賑わい再生は

行っていたいただきたい。瓦屋根や縦格子の扉など、いにしへの日本を感じる改装や、古民家を移築し、新たな移住者を呼び込むなどはいかがか。お社から門前町へ日本特有の風情を感じられると、観光客の増や産業再生が見込める。食事処を開業すれば、雰囲気も良く、もう一度来たいと思わせるまちになるのではないかと。国・県の補助金などの活用と宮町庁舎跡地の活用も含め、門前町整備の今後を伺いたい。

産業建設部長 門前町地区は、眺望景観保全地区の指定をされており、本市としては、周囲との調和と整合性を図るため、指導助言を行い、一定の行為制限をかけ、街並み形成を目指している。

今後の整備方針については基本構想を策定する中で、提案いただいたアイデアも含め、将来像を検討していきたい。宮町庁舎跡地の利活用については、活用可能性調査及びサウンディング調査を行いながら検討をしていきたい。

議員 門前町地区は、歴史と伝統があり、賑わい再生は重要な課題と考える。整備に当たっては、江戸時代のような風情を感じるまちづくりを

その他の質問項目

- ・人口減少対策は
- ・子育て支援事業は
- ・公共グラウンド管理は など

その他の質問項目

- ・事業者からの意見聴取は
- ・地域おこし協力隊の活用方法は

市民からの意見
聴取と情報公開は

総務部長 20代30代の女性が減っていることはデータの的に確認している。子育て世帯の移住定住を促進する施策として「子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業」をはじめとする経済的支援を進めてきた。平成30年度の事業開始から1000人以上の転入実績があり、一定の成果はあったと考える。出生者数が減少していることが大きな課題と認識しており、後期計画については、産み育てやすい環境づくりについて、重点的に力を入れていくべきと考える。



日本共産党
塩竈市議員
伊勢由典

仙台塩釜港区は

議員 宮城県において港湾計画の改訂に向けて、長期構想の策定を進めている。現在の塩釜港区においては、水深9メートルの航路のしゅんせつが計画されていた。①市長としては、どのような立場か。②この間、9メートルしゅんせつについては、県の次期港湾計画ではどのように進められているか。③ここ10年、塩釜港区における貨物量は減少しているが、今後の対策は。3点について伺う。

市長 ①地元自治体として塩釜港区の方向性を見据え、仙台港区の補完港として、災害時に対応できる整備の必要性を提案する等、長期構想委員会等の場で常に発言している。**産業建設部長** ②県では、港湾計画の改訂に向けて、その前段となる20年から30年を見据えた仙台塩釜港の在り方や利用方針を示す長期構想のと

りまとめを行っている。現計画の水深9メートルについては実現に至っていない状況なので、関係会議の中でも強く要望している状況だ。③貨物量の減少は、船舶の大型化によるものと考えており、計画水深の確保について引き続き県に要望していく。

観光は

議員 塩竈市統計書によると、本市を訪れる観光客数は、令和5年で200万人であった。塩竈の古い街並みなどに風情を感じることができ、重要



本町の商業施設跡地

な観光資源である。鹽竈神社への参拝者数も多い。

今後の観光について、12月定例会で基本構想について触れられたが、①門前町の観光を考えた場合、宮町分庁舎跡地の活用をどのように進めるのか伺う。②本町の商業施設跡地も、本町・南町・海岸通の賑わいを作る要であるが、基本構想に位置付けてみてはと考えるが見解は。

産業建設部長 ①令和8年度、門前町の再整備の取組指針となる「基本構想」を取りまとめたい。現存している施設は、どういったものなのか、交通量や観光ニーズなど調査分析をし、門前町が今直面している課題を洗い出したい。その中で、宮町分庁舎跡地も付加価値のある立地であることを踏まえ、民間事業者へサウンディング調査を行い、事業手法について検討していく。②商業施設跡地についても、門前町を構成するエリアとして基本構想の中で活用について検討を深めてまいりたい。

その他の質問項目

- ・第6次長期総合計画は
- ・マリングレイト塩釜は
- ・JR仙石線は

議員 令和7年に実施したアンケート調査は、ルート変更とダイヤ改正に関する内容だったが、それ以外の自由記載で出された内容はあるか。結果を踏まえてどんな課題が出たか。実際にバスに乗り、市民の意見を聞くと、土日の増便が一番多かった。免許を返納し、バスを利用するようになってからとても安心だという方もいた。高齢化が進行する中、安心して外出できることは健康の維持にも地域経済の好循環にもつながる。土日の増便、免許返納者への対応など検討されてはいかがか。**総務部長** 自由記載への意見は、増便や朝夕の便、土日祝日の運行を求めるものなどが多かった。ルート変更もあり、1年を通じた実績を見ながら課題を検討していきたい。懸念として経営上の問題もあり、コストとの見合いを踏



日本共産党
塩竈市議員
辻畑めぐみ

NEWしおナビバスの運行などは

まえ、塩竈市地域公共交通会議のご意見を伺いながら総合的に考えていきたい。**市民生活部長** 免許を返納した方へ、1年間限定の無料乗車券を交付している。近隣自治体も同様の対応なので、現在のところ、これを継続していきたい。



NEW しおナビバス

民生委員・児童委員は

議員 本市の民生委員・児童委員の充足状況は、他自治体と比べて低く、不在地区もあると聞かすが、本市の対応を伺う。他自治体のように、町内

会全体の問題として後継者を検討したり、民生委員・児童委員と情報を共有することが大切と考えるが見解を伺う。

委員の役割はたくさんあり、やりきれない所だ。高齢者まつりは皆さんの楽しみだが、委員自身も高齢となり、つらいとの声も聞く。市、町内会、委員の役割を整理し、委員の負担を軽減することが必要ではないか。当局に伺いたい。

生活福祉課長 民生委員不在地区では、地域包括支援センターが高齢者などの相談活動を担っている。

また、社会福祉協議会で見守りサポートセンターを開設している。負担軽減についても、整理を進めたい。

委員の方々に安定的に活動していただくことへの奨励として、例えば、包括連携協定を結んでいるプロスポーツの観戦へご招待する等の機会を設けている。

なお、新入職員向けに同行研修を行い、我々職員側も地域実態の把握に努めている。

その他の質問項目

- ・市営住宅は
- ・学童保育は
- ・投票しやすい環境作りはなど



市民クラブ
志子田吉晃

塩竈市の消費税は

議員 日本の30年に及ぶ経済停滞の主な原因は、消費税制度にあると考える。

次の4点について伺う。
①国の消費税制度について、不公平感のある輸出還付金制度が存在し、赤字でも納税義務がある。中小事業者に不利な税だと思いが現行制度に対する認識を問う。

②食料品が非課税となった場合、市内の影響は。

③塩竈市の消費税交付金について、制度の仕組みと使い道、また、市の消費税負担額は。

④塩釜税務署管内の消費税徴収額と滞納額について、毎年数百件の滞納があり、これは地域の異常事態、悲鳴の数とも言える。市内の事業承継と市民の財布を守るため市からの支援策について。

市長 ①国の社会保障制度を支える側面を持つなど、極めて重要な税である一方、物価

高が継続している現状において、負担感を訴える声が大きいかも十二分に承知をしている。

総務部長 ②生活の下支えとなる一方、事業者はシステムの見直しなどの負担が生じる。

財政課長 ③税率10%のうち、1・2%、令和8年度予算では、およそ15億円が市に配分される見込み。市が負担する消費税は約6億円。④持続可能な経営や活動が続けられるような環境を構築していくことが市として最優先で取り組む事項だと考えている。

議員 厚生労働省が発表したデータによると、副反応の疑いによる死亡が2302件となつている。次の4点を伺う。

①接種事業の効果について、本市の令和6年度の実績は。

②健康被害救済制度について、本市に相談があった件数と認定数は。

③ワクチン製造番号別のVRS（ワクチン接種記録システム）が持つ統計データは提出可能かどうか。

議員 厚生労働省が発表したデータによると、副反応の疑いによる死亡が2302件となつている。次の4点を伺う。

①接種事業の効果について、本市の令和6年度の実績は。

④健康づくり推進策について、接種後の体調不良や持病再発の相談が来ているが、市の対応は。

福祉子ども未来部長 ①国は60歳以上における入院予防効果63・2%あったなどとしている。令和6年度における本市の高齢者への新型コロナワクチン接種費用は約7200万円であった。

健康づくり課長 ②救済制度へは5件申請があった、うち3件が認定、1件が否認、1件が審議中である。

③厚生労働省のVRSシステムは今年度で稼働終了であるが、本市の健康管理システムにより個々の接種状況を管理している。

国からの指示に基づき、市民の接種履歴を適正に管理している。

④市に相談があった場合は、健康状態を伺いながら、かかりつけ医など身近な医療機関への受診相談を進めている状況である。

その他の質問項目

- ・物価高騰対応支援策は
- ・塩竈市の人口動態は
- ・施政方針及び当初予算は



塩釜を
元気にする会
柏恵美子

塩竈みなと祭の御座船の活用は

議員 塩竈みなと祭で、神輿を乗せて海上を渡御する御座船、鳳凰丸と龍鳳丸は建造から60年以上がたち、祭りのたびに造船所にて、修繕・整備を行っているが、維持管理が限界に近づいている。

こうした中、令和9年、80回目の塩竈みなと祭に向けて、御座船を新造する計画が進められている。祭り以外では、御座船を塩釜港の湾内に係留しているが、船底の修繕を考慮すると、陸に揚げて維持管理する方が修繕費用を軽減できると思うが見解を伺いたい。

市長 御座船の修繕には毎年7〜800万円を要している。海上と陸上のコスト比較において、陸上では、船底の腐食を防ぐメリットがある一方、御座船を海上からつりあげる経費や陸上で保管する架台の費用などが高額となることが見込まれている。

海上と陸上のコスト比較において、陸上では、船底の腐食を防ぐメリットがある一方、御座船を海上からつりあげる経費や陸上で保管する架台の費用などが高額となることが見込まれている。



御座船 鳳凰丸

商工観光課長 新造する御座船では、現在の修繕費用よりは減額されるものと見込まれている。陸上保管の経費検討を含め、現時点で海上か陸上かの決定には至っていない。今後、場所を含め、様々な可能性を含めた選択肢を持って検討していく。

市内観光の回遊性の向上は

議員 令和6年2月の一般質問で、仙台市が運営する観光地循環バス、るーぶる仙台の事例を挙げ、塩竈市内の回遊性向上について質問したところ、

産業建設部長より「研究のテーマ」であるとの答弁であった。

現在の研究成果について伺う。将来、運行する場合、いつ頃を目途とされるのか、また、観光による官民連携について、魅力ある様々な観光資源の情報発信、観光客誘致等への取り組みについて伺いたい。

産業建設部長 現時点では、研究を継続中とのお答えとなる。

るーぶる仙台が好評を得ているとの認識はあるが、最大の課題は、採算性の問題であり、継続して検討していくが、例えば、どつと祭りなどのイベント限定のシャトル運行など、まずは試験的な運行の可能性について、引き続き考えていく。

官民連携による観光振興については、幅広い「公民連携」を基本に、関係団体の皆様方とタッグを組んで、情報発信、観光客誘致に取り組む。

その他の質問項目

- ・観光による官民連携は
- ・塩竈の未来図は



塩釜を元気にする会
土見大介

浦戸諸島における「なりわい創出」は

議員 人口減少や高齢化が著しく、法令や県の条例などによる開発規制も厳しい浦戸諸島においては、島民、振興策の担い手、行政が浦戸諸島の在り方を共有し、一丸となつて理想像に向かつて取り組む必要がある。特に法令や条例への対応は、事前の綿密な事業計画の策定が不可欠である。さらに、担い手候補である地域おこし協力隊は、その役割を明確化し、定着率を高める工夫が求められる。

今後は、島民や関係者との意見交換をもとに将来ビジョンの策定を早急に進めるべきであるが、市の考えを伺う。

市長 議員ご指摘のとおり、将来ビジョンを明確にしなければいけないということは真摯に受け止める。浦戸地区の皆様ともよく相談をさせていただきながら、小さな要望にお応えし、その先を見据えて

いく形で進めていることをご理解願いたい。

市民生活部長 法規制は大きな課題である。市が浦戸地区においてどのようなことを実施したいのかを明確にしたうえで、県と調整しながら連携して再生と振興に取り組んでいく。

持続可能な町内会運営に向けた支援の在り方は

議員 町内会の多くは、役員の高齢化や担い手不足により、厳しい運営状況にある。市は、補助金や物品の配布によつて



みんなで補完し合う地域づくり

支援を行っているが、活用しきれっていない町内会も多い。今後、町内会が求められる役割を担っていくために、市は各町内会の運営状況を正確に把握し、それぞれが抱える課題に合った支援の仕方を検討すべきである。また、声を上げにくい町内会の実態も含め、アンケート調査などを通じて、丁寧な把握すべきと考え、市の考えを伺いたい。

市長 各町内会との懇談会を年間30回から40回程度実施している。また、町内会長への訪問を行いながら、数百にも上るご意見を毎年お伺いしている。まずはできるところから対処しなければならぬと考えている。

市民生活部長 年度当初に全町内会の活動状況の確認を担当部署が行っている。なり手不足や加入世帯の減少、町内会費が思うように集まらないなどのお話を伺っている。議員から提案のあったアンケート調査については必要と認識しており、実施に向けて準備を進めている。

その他の質問項目

- ・民官連携のまちづくりは

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 欠：欠席 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	会派名・議員氏名														審議結果				
		日本共産党 塩釜市議団				市民 クラブ				塩竈維新の会		塩釜を元気に する会		公明党			かいしん			
		伊勢 由典	小高 洋	辻畑 めぐみ	鈴木 悦代	鎌田 礼一	志子田 吉晃	今野 恭一	桑原 成典	西村 勝男	伊藤 博章	土見 大介	柏 恵美子	浅野 敏江	小野 幸男	菅原 善幸	志賀 勝	鈴木 新一	佐藤 公男	
2 月 定 例 会	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて																		承 認
	議案第1号	塩竈市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第2号	令和元年台風第19号による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例を廃止する条例																		原案可決
	議案第3号	塩竈市森林等における火入れの規制に関する条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第4号	塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第5号	令和7年度塩竈市一般会計補正予算																		原案可決
	議案第6号	令和7年度塩竈市交通事業特別会計補正予算																		原案可決
	議案第7号	令和7年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算																		原案可決
	議案第8号	令和7年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算																		原案可決
	議案第9号	令和7年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算																		原案可決
	議案第10号	令和7年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算																		原案可決
	議案第11号	令和7年度塩竈市下水道事業会計補正予算																		原案可決
	議案第12号	令和7年度塩竈市立病院事業会計補正予算																		原案可決
	議案第13号	令和7年度塩竈市水道事業会計補正予算																		原案可決
	議案第14号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第15号	塩竈市行政手続条例等の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第16号	塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第17号	塩竈市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例																		原案可決
	議案第18号	令和8年度塩竈市一般会計予算																		原案可決
	議案第19号	令和8年度塩竈市交通事業特別会計予算																		原案可決
	議案第20号	令和8年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算																		原案可決
	議案第21号	令和8年度塩竈市魚市場事業特別会計予算																		原案可決
	議案第22号	令和8年度塩竈市介護保険事業特別会計予算																		原案可決
	議案第23号	令和8年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計予算																		原案可決
	議案第24号	令和8年度塩竈市下水道事業会計予算																		原案可決
	議案第25号	令和8年度塩竈市立病院事業会計予算																		原案可決
議案第26号	令和8年度塩竈市水道事業会計予算																		原案可決	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて																		同 意	
議員提出 議案第1号	塩竈市議会傍聴規則の一部を改正する規則																		原案可決	
議員提出 議案第2号	市長の専決処分事項を指定することについて																		原案可決	

次回の定例会は
6月15日(月)
午後1時開会予定です

今回の定例会において多様な市民の民意が市議会へ反映されるよう、傍聴しやすい環境を整備することを目的に、議員提出議案により、塩竈市議会傍聴規則が改正されました。主な改正点は、年齢制限を廃止し、12歳未満の方も傍聴できるようにしました。また、服装の制限を見直し、これまでご遠慮いただいていた、外とう（コート）などを着用できることとなりました。これからの時代の変化に即しながら、より開かれた議会となるよう議論を重ね、環境整備に努めてまいります。

編集後記

◆人権擁護委員の推薦
高橋 百合子 氏
渡邊 常幸 氏
佐藤 すぎよ 氏

人事
次的人事案件に同意いたしました。